

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

科 目 名		科目コード	単位数	開講期	講義形式
特許審判特論		Z 315	2 単位	3 学期	ハイフレックス
Patent Appeals					
科 目 分 野		課 程 領 域			
産業財産権		知的財産マネジメント専門科目			
担 当 教 員 名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー			
木越 力	-	メールアポイントにて随時。 講義後が一番都合が良い。			

関 連 し て い る 科 目 (履修推奨科目)		
特許出願・審査特論	特許・実用新案法特論 1、2	特許・実用新案法応用特論

授 業 の 概 要 と 到 達 目 標

授業の主題と概要

特許法は手続法と実体法が混在しており、単に法令のみの学習でその法令像の詳細を正確かつ具体的に把握することは困難であり、実務に対応することはできない。そこで、本講義においては、特に特許審判について、その法令解釈・運用と手続に関する部分を中心として、詳細を講義し、正しい解釈を身につけて理解を深めることにより、自分で実際に担当できる準備をすることを目的とする。特許審判に関して、特に国内特許の権利化と権利係争に関連する事項について専門的な事項を修得する。

到達（修得）目標

特許審判に関して、特に国内特許の権利化と権利係争に関連する事項について専門的な事項を修得する。

受講対象者

弁理士、企業の知財担当者、特許事務所のパテント・スタッフ、およびこれらを目指す者

履 修 上 の 注 意 事 項 や ア ド バ イ ス

※ 欠席が、4コマ(90分=1コマ) を超える場合は、単位取得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。
 ※ 担当する教員は実務家教員とする。
 ※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ 修 得 目 標					
知識領域（Y 軸）		ヒューマンパワー（Z 軸）		思考プロセス（X 軸）	
Y1: 基盤法令・テクノロジー		Z1: 問題発見力		X1: 企画	
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー	○	Z2: 独創力	○	X2: 構想	
Y3: グローバル法令・実務	○	Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント		Z4: プレゼンテーション力		X4: 設計・開発	
Y5: 戦略立案		Z5: 変革推進力		X5: 変革	
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	○
		Z8: ネゴシエーション力	○	X8: リーガルマインド	○
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

プ ラ ク テ ィ カ ム		
イベント / ケース	教育技法	マテリアル / ツール
1	講義方式	

評 価 の 方 法	
(総合評価項目と割合)	評 価 の 要 点
出席・受講態度	30%
学習プロセス・課題レポート	30%
期末テスト	40%
合計	100%

毎回、事務室より出席簿を準備する。学習プロセス及び課題レポートにより、授業内の理解度を確認する。期末試験により、総合的な理解度の確認を行う。

テキスト・参考図書など		備 考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	・授業用資料を適宜配布 ・法令集(特許法令集) 等	適宜特許法の条文を確認できるように法令集を持参すること。
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	・特許庁編・工業所有権法(産業財産権法)逐条解説(発明推進協会)(通称「青本」)(特許庁HP) ・特許庁・特許・実用新案審査基準、特許・実用新案審査ハンドブック、審判便覧(特許庁HP) ・特許庁・特許法等の改正産業財産権法の解説(法改正の解説、特許庁HP)	
参 考 URL		
適宜紹介予定		

コマ	学 習 内 容	事前準備・課題	担当者	時間
1	イントロダクション ・特許審判概論	指示された範囲予習	木越	180分
2	・拒絶査定不服審判(1) 法制度解説			
	イベント			
3	・拒絶査定不服審判(2) 法制度解説(前置審査含む)	指示された範囲予習	木越	180分
4	・拒絶査定不服審判(3) 法制度解説(拒絶理由への対応)			
	イベント			
5	・拒絶査定不服審判(4) 請求書・補正書作成演習課題	指示された範囲予習	木越	180分
6	・前回の復習と課題についての講評 ・特許無効審判(1)法制度解説(訂正手続含む)			
	イベント			
7	・特許無効審判(2) 法制度解説(実務含む)	指示された範囲予習	木越	180分
8	・特許無効審判(3) 法制度解説、事例紹介 無効審判請求書作成演習課題			
	イベント			
9	・前回の復習と課題についての講評 ・特許異議の申立て(1) 法制度解説	指示された範囲予習	木越	180分
10	・特許異議の申立て(2) 法制度解説(実務含む) ・判定・再審等 法制度解説(実務含む)			
	イベント			
11	・訂正審判(1) 法制度解説	指示された範囲予習	木越	180分
12	・訂正審判(2) 法制度解説			
	イベント			
13	・審決取消訴訟(1) 法制度解説	指示された範囲予習	木越	180分
14	・審決取消訴訟(2) 法制度解説(行政法との関係含む)			
	イベント			
15	・審決取消訴訟(3) 法制度解説(実務含む)、事例紹介、総まとめ	指示された範囲予習	木越	180分
16	・最終90分は試験を実施(範囲は前回までの内容)			
	イベント	試験(90分)		

※ 講義日程は、学事ポータルの講義日程表をご参照ください。

※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。